

『一家に1枚 元素周期表』第10版第2刷から第11版への変更点

- (1) 水素：イラストに燃料電池車追加。「ロケット燃料，燃料電池，Ni 水素電池」を「ロケット燃料，燃料電池（車），Ni 水素電池」に変更。
- (2) リチウム：イラストの車を電気自動車+プラグに変更。「リチウムイオン二次電池」を「リチウムイオン二次電池（電気自動車，スマートフォン，ドローン）」に変更。「低温用の潤滑グリースに配合」を削除。
- (3) ヒ素：「ヒジキやカキなどの海産物に微量含まれる」を「ヒジキやカキなどの微量成分」に変更。4行目に「ある種の白血病治療剤（ As_2O_3 ）」を挿入。
- (4) アンチモン：「半導体，DVD ディスクの材料」を「半導体，DVD/ブルーレイディスク」に変更。
- (5) テルル：「DVD-RAM ディスク [Ge-Sb-Te：レーザーで融けて一瞬にアモルファス化（非晶質化）]」を「DVD/ブルーレイディスク [Ge-Sb-Te：レーザーで融けて一瞬にアモルファス化（非晶質化）]」に変更。
- (6) ネオジム：イラストをMRI から風力発電機に変更。「最強力ネオジム磁石 Nd-Fe-B（ハードディスクやハイブリッド車のモーター，MRI の磁石，スピーカー）」を「最強力ネオジム磁石 Nd-Fe-B（電気自動車のモーター，風力発電機，スピーカー）」に変更。
- (7) サマリウム：「太古の年代測定法（半減期 1080 億年の放射性同位体利用）」を3行目「太古の年代測定法」、4行目「ロシアの鉱山技師サマルスキーにちなむ」に変更。
- (8) ガドリニウム：イラストに発見者ガドリンの写真（イラスト）と「ガドリン」の文言を追記。「磁気冷凍」を「磁気冷凍に用いる磁性材料」に変更。
- (9) ハフニウム：「ハフニウム蛍光灯」を「鉱物ジルコンから発見された」に変更。
- (10) イリジウム：「昔のメートル原器は Pt-Ir 合金」を1行目から4行目へと順番を変更。
- (11) 白金：イラストに2個のプラチナの指輪を追加。「キログラム原器（Pt-Ir 合金）」を「キログラム原器（2019年に廃止）」に変更し1行目から4行目へと順番を変更。

- (12) ポロニウム：イラストをポーランドの地図に変更し、「ワルシャワ」と「キュリー夫人博物館」の文言を追記。
- (13) フランシウム：イラストに「半減期 21.8 分」の文言を追記。発見者ペレーの生国フランスにちなんで名づけられた」を「キュリー研究所でペレーが発見. その生国フランスにちなむ」に変更。「 ^{223}Fr 半減期は 22 分」を「自然界から発見された最後の元素 (1939 年)」に変更。
- (14) ラジウム：イラストを 84 ポロニウムのキュリー夫人の写真へ変更。「蛍光性塗料 (Ra のアルファ線によって ZnS が発光) に使われていた」を「Po, Ac, Rn などとともに, 地殻中で最も少ない元素のひとつ」に変更。
- (15) ローレンシウム：イラストの文言を「世界初のサイクロトロン (1936 年)」を「世界初のサイクロトロン (1932 年)」に変更。
- (16) ノーベル賞受賞者の肖像：本庶 佑氏の写真を追加。写真の下に「本庶 佑《ほんじょ たすく》(2018 年ノーベル生理学医学賞受賞) 免疫抑制分子を標的としたがん治療法」を追記 (※肖像あり版のみ)
- (17) メンデレーエフの人物紹介：「2019 年はメンデレーエフによる元素周期律発見 150 周年にあたる。」の文章を追記。
- (18) 本改訂に伴う全体レイアウト及び改訂履歴の修正、並びに「制作協力」、「写真・資料提供」、「参考書」等に係る追記。